

令和5年度 区長と語る会 所管割当表

地区 岡方地区

区分	番号	要望等	所管課	関連質問
協議	1	岡方地区の子供の増加に向けて	地域総務課 建設課	
協議	2	稲架木並木と花の街道整備について	建設課	
協議	3	岡方地区小中学校（3校）の統合が行われた場合の災害発生時における校舎継続使用について	地域総務課	
協議	4	主要地方道新潟・安田線の森下、高森地内の急カーブ道路部分拡幅工事の継続要望について	建設課	有 R4同様
協議	5	令和4年度協議・要望事項の進捗状況について	建設課 産業振興課	
要望	1	県道27号新潟・安田線、灰塚集落出入口交差点の街路灯設置について	建設課	
要望	2	広域農道長戸呂地内交差点「一灯点滅式信号」の設置について	区民生活課	
要望	3	注意喚起の標識設置について	区民生活課 建設課	有 R4同様
要望	4	通学路のグリーンベルトの設置について	教育支援センター	有 R4場所別
要望	5	新江用水路に架かる橋の手すりの設置について	教育支援センター	
要望	6	通学路（三ツ屋地内）危険箇所について	区民生活課 建設課	有 R4同様
要望	7	和式トイレを洋式トイレへの改修について	施設課	
要望	8	通学路への注意喚起標識の設置について	建設課	
要望	9	避難所生活運営体制の充実強化に伴う専門指導員の設置と指導・派遣について	地域総務課	
連絡	1	除雪の方法について	建設課	有 R4同様
連絡	2	要望事項採択後の流れについて	地域総務課	

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

協議事項1

提出：十二前自治会

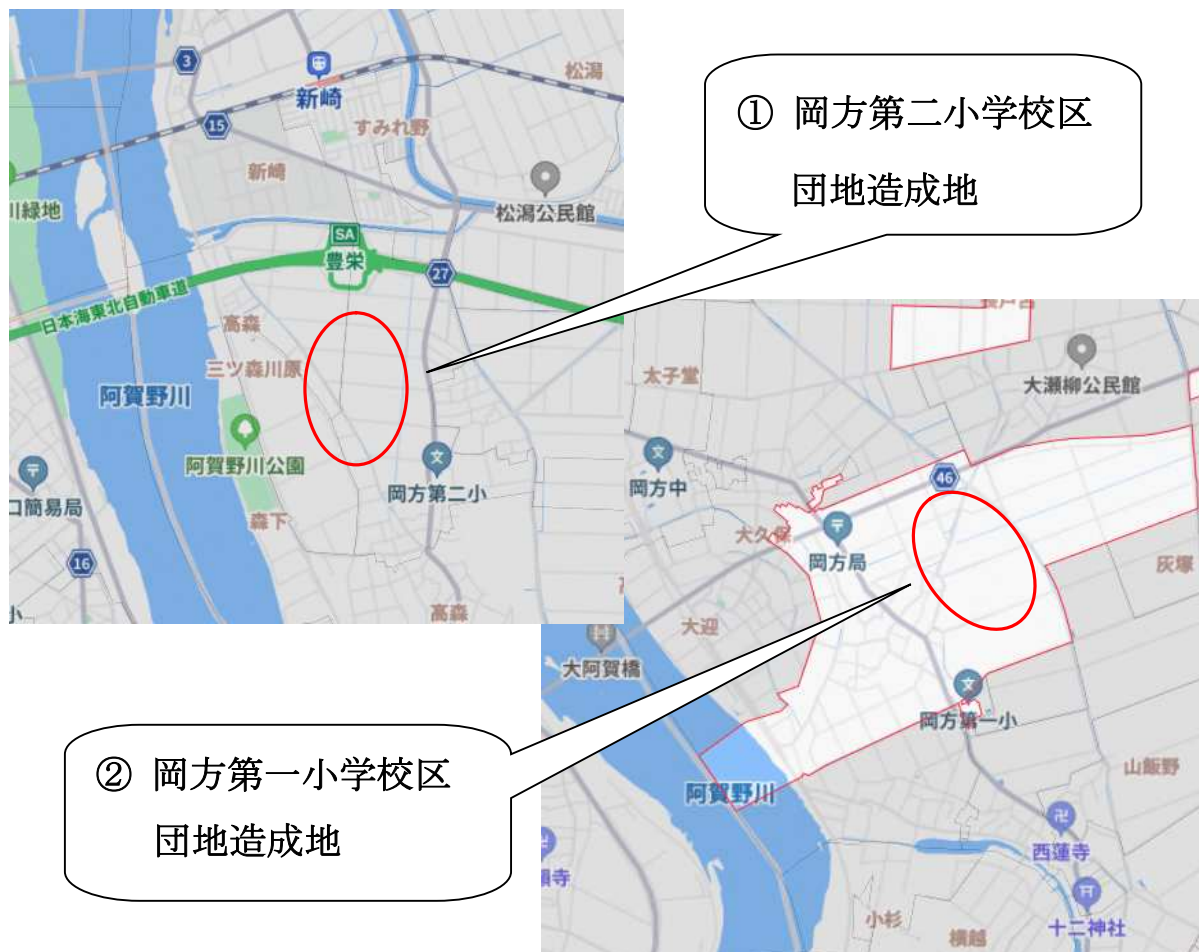
※所管課：北区地域総務課・北区建設課

岡方地区の子供の増加に向けて

本市の児童生徒数は長期間に渡り減少を続けており、この傾向が今後も継続することが見込まれています。令和4年度の推計では、岡方第二小学校が令和6年度に複式学級になる見込みであることを踏まえ、北区長として、岡方地区の少子化問題について、何か増加が見込める政策をお願いします。

- 例えば
- ① 兄弟堀、森下集落の間に団地を造成するとか。
 - ② 長戸呂、大久保集落の間に団地を造成するとか。

【資料：図面】



【回答】

北区に限らず新潟市においても、人口減少・少子高齢化が進んでおり、働き手の減少や地域経済の縮小などさまざまな課題が生じることが想定されます。

そのため、今年度新たに策定された「新潟市総合計画」では、人口増加を目指すのではなく「人口減少を和らげる」「人口減少社会に適応する」ためのまちづくりとして、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりや、多様で魅力ある雇用の場を創出し転出超過の解消を進めることとしています。

この度、団地の造成をご提案いただいた地区は、都市計画で定めるところの市街化調整区域となっており、市街化を抑制する区域となっているため、団地造成など市街化を促進することは困難な地区となっております。なお、宅地開発については、平成26年1月に既存集落区域における住宅等の建築許可要件を緩和する条例が施行されており、許可要件を満たす戸建住宅や宅地分譲（3,000㎡未満）の開発であれば可能となっております。

また、北区では、特色を生かした子育て支援の取り組みとして、ふゆっこまつり・パパスクール・子育て支援マスター派遣などを通じて、地域における子育て支援や子どもの居場所づくりを支援してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

協議事項2

提出：大瀬柳自治会
※所管課：北区建設課

稲架木並木と花の街道整備について

稲架木並木、歩道排水路側の法面が崩れロープが張ってある擬木が倒れそうだ。歩行者の安全のため早急に改修が必要である。また、歩道からの排水が集中して法面を流れ、さらに大きく崩れている。歩道からの排水の方法を考えるべきだ。

【資料：図面】



【回答】

稲架木並木の道路排水は路肩に側溝がないことから、道路の法面下にある農業用排水路を利用し排水する構造となっています。

現在、道路排水により歩道路肩や法面が崩れている箇所があることから、現地を調査し排水方法を検討して修繕します。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

協議事項3

提出：大久保自治会
所管課：北区地域総務課

岡方地区小中学校（3校）の統合が行われた場合の 災害発生時における校舎継続使用について

当地区では現在、今後の小中学校のあり方について検討するため、「岡方地区学校教育地域検討会」を設置して、市教育委員会から提示された地域内統合や他地域への編入統合或いは学区再編を伴う分離統合を内容とする4つの統合パターン案を中心に慎重な協議を進めているところであるが、結論次第で当地区から1校または2校或いは3校ともなくなることになる。

教育委員会からは、避難所等を含めた校舎の継続使用について、協議のうえ決定していく旨の説明を受けているところである。

一方、新潟市では公共施設再編の基本方針である「財産経営推進計画」を改訂し、小学校の統合案や施設面積を全体で9%削減するほか、施設運営経費の縮減にも数値目標を掲げているところである。

当地区としては、人口規模からして3校舎とも避難所として継続的に使用していく必要があることから、そのご理解と災害発生時には校舎の使用が可能となるよう、ご配慮をお願いする次第です。

【回答】

はじめに現在指定されている避難所についてです。

市内の指定避難所は全人口を収容するためではなく、被害想定で予想される避難者数を充足する規模で、供用している公共施設を中心に指定をしています。最も被害が大きいと想定される長岡西縁断層帯による地震においても、北区内の避難者数を充足することができる状況です。

このため岡方地区の指定避難所につきましては、今後、実際に学校の再編などが地域で合意のもと進められるなかで、地域の皆さまの要望や実情を踏まえつつ、再編において懸念される他の案件とともに、検討してまいりたいと思います。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

協議事項4

提出：高森・森下・高森新田自治会
所管課：北区建設課

主要地方道新潟・安田線の高森・森下地内の急カーブ 道路部分拡幅工事の継続要望について

この協議事項は、十数年来の件ですが何の進展も見られません。このカーブは交通に支障をきたしており、交通事故も多々あるだけでなく、子供を交通事故に巻き込む恐れのある危険な場所でもあることを認識してもらいたい。また、児童館を利用するために道路を横断する子供もいます。その時は、道路の真ん中まで行かないと自動車が見えず、本当に危険な場所です。できる限り安全な場所になるよう、本腰を入れて道路改修工事の推進を図ってください。

【資料：図面】



【回答】

従前からお伝えしているとおおり、当該箇所の危険性については認識しています。

しかしながら、道路の拡幅や見通しを良くするための線形改良などによる抜本的な交通安全対策については、現状では用地の取得が困難なために進められないのが実情であるということをご理解願います。

既存の路面標示の引き直しやカーブミラーの角度調整など、通常の維持管理に関するご要望があれば随時対応していきます。

なお、子供に限らず歩行者が当該カーブ付近の道路を横断することは非常に危険ですので、安全な動線での通行を心掛けて頂きたいと考えています。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

協議事項5

提出：岡方地区コミュニティ委員会
所管課：北区建設課・北区産業振興課

令和4年度協議・要望事項の進捗状況について

このことについて、下記のとおり担当所管課が継続して取組んでいる進捗状況の回答を頂きたい。

記

1 協議1-1

令和4年12月15日開催の「新潟中央環状道路の説明会」後の道路整備の進捗状況と「長戸・大瀬柳工区」から「大阿賀橋」までの間の整備計画について

所管課 道路計画課・建設課

2 協議1-5 阿賀野川堤外地の排水路護岸の整備について 所管課 産業振興課

3 協議1-6 胡桃山排水機場脇堤防市道の車両落下防止設備整備について

所管課 建設課

【回答】

1 協議 1-1

① 新潟中央環状線全区間の整備進捗状況について（道路計画課）

新潟中央環状線は、令和4年12月15日時点で全体延長約45kmのうち23.1kmを供用しており、その後、黒埼スマートインターチェンジに直結することなどから、優先的に整備を進めてきた黒埼工区、明田工区及び中ノ口工区の一部の計3.8kmを新たに供用しました。これにより、全体延長約45kmのうち、60%にあたる26.9kmが供用しています。

② 「大瀬柳・長戸工区」から「大阿賀橋」までの整備計画について（道路計画課）

当該区間においては、現在、整備ルートの検討材料として揚水機場の調査を実施しており、調査結果をもとに地域の皆様と意見交換を重ね、周辺の安全対策を含めて検討していきます。

③ 現道の交通安全対策について（建設課）

今年度は浦木地区交差点の揚水機場脇の一定区間について、道路拡幅による線形改良を行います。

すでに道路用地幅を確認するための測量を実施しており、改良計画に関する警察協議の準備を進めています。

改良計画や工事時期などについては、決まり次第お知らせします。

2 協議1-5 阿賀野川堤外地の排水路護岸の整備について（産業振興課）

昨年、ご要望いただいた堤外地にある排水路護岸整備の支援について、将来的に支援できる方法がないか新潟北土地改良区とも協議を続けましたが、堤外地の護岸整備支援は、河川区域という法的な課題が大きいため難しい状況です。

3 協議 1-6 胡桃山排水機場脇堤防市道の車両落下防止設備整備について（建設課）

昨年度、区役所建設課では、当該箇所における防護柵設置などの交通安全対策実施について河川管理者と協議を行いました。

対策の実施には、堤防など河川管理施設の構造的な安全性を維持するために種々の制約条件をクリアしていく必要があります。

今年度も引き続き、河川管理者と協議を進めています。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項1

提出：灰塚自治会
所管課：北区建設課

県道27号新潟・安田線、灰塚集落出入口交差点の街路灯設置について

灰塚集落から県道27号新潟・安田線に出入りする交差点が、十二方向に県道がカーブしているため、確実に一時停止を行い、さらに、左右確認を行っても見えにくい箇所がある。また、特に夜間は暗いため車両の確認が遅くなりがちで、そこに街路灯が設置されれば、双方の安全性が高められるとともに交通事故が回避できる。

※過去に車両同士の事故も発生しており危険な場所である。

【資料：図面】



【回答】

令和6年度の自治会要望土木工事として要望してください。他地区の要望箇所と合せ現地を確認し判断します。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項2

提出：灰塚自治会

所管課：北区区民生活課

広域農道長戸呂地内交差点「一灯点滅式信号」の設置について

長戸呂地内の広域農道「長戸呂ポンプ場」交差点は、法定速度を超過して走行する車両が見受けられる所で、たびたび交差点内での出会い頭事故が発生している。過去には、死亡事故も発生しており、注意喚起を促すための「一灯点滅式信号機」の早期設置を要望する。

【資料：図面】



【回答】

信号機の設置は、警察の所管となりますが、区としては、取り急ぎ、新潟北警察署交通課に要望があった旨を報告しました。

今後、地域の方から同警察署へ要望いただくこととなりますが、要望書作成のお手伝いや提出時の同行などの協力ができますので、必要な場合は区民生活課へご相談ください。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項3

提出：大瀬柳自治会

所管課：北区区民生活課・北区建設課

注意喚起の標識設置について

従来から要望していた歩行者用信号機の設置が却下された。市道（豊栄2-424号線）に「スピード落とせ」、「横断歩道あり」、「横道あり」などの注意喚起の標識設置を望む。昨年、一昨年と要望しているが未だに実行されていない。

【資料：図面】



【回答】

北警察との協議により「スピード落とせ」の看板を区民生活課で用意し、建設課が設置しました。

今後、現地の通行状況を見ながら看板の大きさや、設置位置や高さを検討します。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項4

提出：岡方第一小学校

所管課：北区教育支援センター

通学路のグリーンベルトの設置について

この春にカントリーエレベーターから長戸呂集落の入口まで、通学路グリーンベルトが設置されました。子供たちの登下校のより安全を確保するため継続して、県道27号新潟・安田線に出る区間のグリーンベルトの設置を要望する。

【資料：図面】



【回答】

通学路の安全確保については、「通学路交通安全プログラム」に基づいて行っており今年度も小学校を通じて通学路の危険箇所を報告いただいています。

今後、ご指摘の箇所を含めて、関係課で合同点検を行い、通学路の安全対策について検討いたします。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項5

提出：岡方第一小学校

所管課：北区教育支援センター

新江用水路に架かる橋の手すりの設置について

大瀬柳方面から通学する児童は、登下校時、県道27号を渡るために、長戸呂の新江用水路にかかる橋を渡っている。地域のための重要な用水路ではあるが、当該橋は、個人住宅前と同様に手すりがない橋であり、強風の際、児童が落下する恐れがある。これを踏まえて、手すりの設置をお願いしたい。

資料：図面】



【回答】

通学路の安全確保については、「通学路交通安全プログラム」に基づいて行っており、今年度も小学校を通じて通学路の危険箇所を報告いただいています。

今後、ご指摘の箇所を含めて、関係課で合同点検を行い、通学路の安全対策について検討いたします。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項6

提出：岡方第二小学校

所管課：北区区民生活課・北区建設課

通学路（三ツ屋地内）危険個所について

昨年度、放課後に自転車と車両の交通事故があった。横断歩道前の「止まれ」がほとんど見えず、土手から県道へ下りてくる車両、県道から土手へ上がる車両等があり、複雑かつ危険である。はっきりとした「止まれ」の表示、交差点内を赤のカラーアスファルトにするなどの注意喚起の対応をお願いしたい。

【資料：図面】



【回答】

(区民生活課)

「止まれ」表示の補修は、警察の所管となっていますが、区としては、取り急ぎ、新潟北警察署交通課に要望があった旨を報告しました。

(建設課)

当該交差点は、堤防道路からの坂路と主要地方道新潟安田線と市道が交差し、変則交差点となっており危険であるため、区画線の引き直しによる車両の誘導や、停止線の位置などを北警察と協議し設置を検討しています。

また、歩道にはストップマークを設置しました。

今後は、交差点や横断歩道のカラー化など、関係者の皆様と安全対策について協議を進めます。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項7

提出：岡方第二小学校

所管課：施設課

和式トイレを洋式トイレへの改修について

現在、洋式トイレが主流であり、和式トイレに関しては、大人も子どもも使いにくいと感じている。洋式トイレへの改修工事をお願いしたい。(4 据)

【回答】

新潟市の学校トイレにおける洋式トイレの設置率は、現在 66.5%となっています。しかし、学校単位でみた場合、100%となっている学校がある一方、50%未満の学校も数多く存在していることから、現在は、この学校間の差を早期に解消するため、令和7年度までにすべての学校で洋式化率が50%以上となるように、計画的に改修を進めているところです。

一方で、岡方第二小学校においては、令和2年度にトイレ改修工事を実施しており、校舎トイレにおける洋式トイレの設置率は88.9%となっているため、直近で改修計画は有りません。

※その他岡方地区の学校：岡方第一小学校 100%、岡方中学校 58.3%
(児童・生徒用の校舎トイレ)

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項8

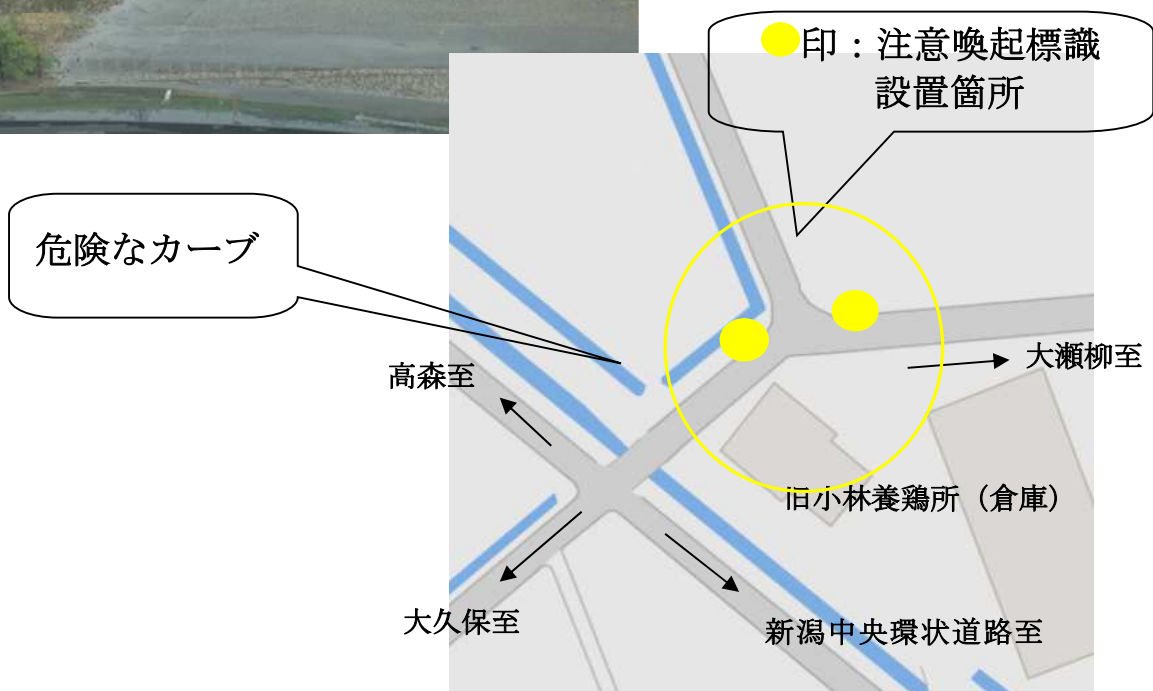
提出：岡方中学校

所管課：北区建設課

通学路への注意喚起標識の設置について

この地点は、大瀬柳地区の生徒の通学路となっている。一見見通しがよく、かなりのスピードを出している車両があるが、この地点付近には建物があり、対向車に気付きにくい。カーブミラーはあるが、特に雨の日は見えにくく、自転車の生徒が危険な思いをすることがあった。この地点付近での減速を呼び掛ける看板を設置してほしい。

【資料：写真・図面】



【回答】

6月下旬に「スピード落とせ」の看板を設置しました。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

要望事項9

提出：岡方地区コミュニティ委員会
所管課：北区地域総務課

避難所生活運営体制の充実強化に伴う専門指導員の設置と指導・派遣について

昨年度は、災害時に実効性を持った組織づくりのため、避難所施設を取り巻く自治会や防災士などと連携し、ワークショップで課題の共有や解決に向けた検討を重ねてきました。また、岡方地区防災会の「合同防災訓練」では、ワークショップで培った成果を避難所運営訓練で実践するとともに、訓練の一環として「振り返り」も実施しました。その一連の流れについては、地元の防災士をはじめ、コーディネーターを交え、区（行政）の支援によりできたものです。

この度、当地区防災会では、「避難所運営委員会」が創設され、防災会とともに運営し始めたところです。

これらの実情を踏まえ、避難所生活運営体制の充実強化を図る上で、今後とも引き続き専門指導員（区職員またはコーディネーターなど）の配置と指導・派遣が必要不可欠なものと認識しております。ご検討のほどお願いします。

【回答】

昨年度は避難所運営組織立ち上げに向けた区づくり事業において、岡方地区を選定し実施しましたが、積極的にご協力いただきありがとうございました。

北区では37避難所のうち、11施設で運営組織立ち上げられており、岡方地区では4施設全てで立ち上げていただいています。

今後も立ち上げが進んでいない地域の立ち上げを中心に支援していく予定です。そのため、現時点では個別の地域を担当する職員の配置や外部講師派遣の予定をしていません。

なお、引き続き既に立ち上がった避難所運営については、区も相談に乗るなど支援してまいります。災害は突然発生するため、実際に避難生活をおくる地域が主体性をもって検討し、取り組む視点も重要です。

ぜひ、自治会や岡方地区コミュニティ委員会で養成された地元の防災士と連携して、地域の防災活動を進めてください。

なお、地域で取り組むなかで外部の専門機関に指導などを依頼する場合に、利用可能な補助金制度もありますので、区役所にご相談ください。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

連絡事項1

提出：大瀬柳自治会
所管課：北区建設課

除雪の方法について

大瀬柳地内の信号機（カントリーエレベーター前）、〇〇宅前横断歩道待機所に毎年除雪車が雪の山を作る。小学生の通学路になっており横断歩道を渡れない。建設課に要望するが、排雪作業もしてくれない。自治会費で除雪したこともある。除雪の仕方を考えてほしい。昨年も同じように要望したが、全く改善されていない。どうなっているのか。誰のための除雪なのか考えてもらいたい。

【資料：図面】



【回答】

幹線道路の除雪については、かき分け除雪による作業のため横断歩道が渡れないなど、通行に支障となる箇所がございます。

北区管内すべての横断歩道の雪山を撤去することは、通常除雪による作業では不可能であるため、各地域の皆様の協力が必要と考えています。

歩道除雪や横断歩道の雪山撤去などに奨励金が交付される制度や、歩道除雪機の貸与や購入補助金など制度がありますので、建設課までご相談ください。

今後とも、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

令和5年度 岡方地区懇談会提出事項

連絡事項2

提出：岡方地区コミュニティ委員会

所管課：北区地域総務課

要望事項採択後の流れについて

当該コミュニティ委員会は、毎年度開催される地区懇談会「区長と語る会」のテーマを、地区全体に関わる協議事項・要望事項・連絡事項・警察署が所管する案件を自治会・学校から提出して頂いております。また、提出された事項は、会議に諮り取り纏めて担当所管課へ提出しています。

昨年度の要望採択案件は、次の3件であったかと思えます。

- I 要望2-4 通学路にグリーンベルトの設置について(教育支援センター)
- II 要望2-1 2 十二瀨上池下池連絡水上市道の安全管理について(産業振興課)
- III 要望2-1 3 十二瀨の水没ボートの撤去について(区民生活課)

その内の「III 要望2-1 3」については、所管課から連絡があって阿賀野川土地改良区、区民生活課、十二瀨を守る会の3者合同で撤去しました。

しかし、「III 要望2-1 3」以外の案件については、現地確認、立ち合いの同行を求められたものの、その後、要望案件としての採択結果も具体的な工事説明もないまま、工事が始まって工事が終わっている。

本末転倒なことは、案件事態を当該コミュニティ委員会が何も知らず、「蚊帳の外」状態で地域住民から聞かされて分かる始末です。何処が要望事項を取り纏めた組織なのか。また、同じ仕事をするにも地域住民から感謝される仕事をすべきではないのか。

これからも、この流れで「区長と語る会」を開催するのでしょうか。区長のお考えをお聞かせください。

【回答】

要望があった案件は地元自治会には実施に先立ち連絡等行っておりますが、コミュニティ委員会への連絡や説明が不十分だった点について、お詫びいたします。

今後は、「区長と語る会」開催後、要望があった項目などの整理を行ったうえで、コミュニティ委員会と共有し、年度末までに対応状況などもお示ししていこうと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いします。